１１月定例記者会見の概要

１　日　時　令和８年１１月２日（月）１０時００分～１０時４５分
２　場　所　本庁舎３階　第一会議室
３　出席者　**＜報道機関＞**

① 毎日新聞社　南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
② 朝日新聞社　南相馬支局（南相馬記者クラブ会員）
③ 読売新聞社　南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
④ 福島民友新聞社　相双支社（南相馬記者クラブ会員）
⑤ 福島民報社　南相馬支社（南相馬記者クラブ会員）

計　５　社

＜　市側　＞

・市長・総務部長
(テレビ会議)
・副市長・教育長・小高区役所長・鹿島区役所長
・復興企画部長・復興企画部政策担当理事
・市民生活部長・健康福祉部長・こども未来部長
・商工観光部長・商工観光部企業立地担当理事
・農林水産部長・建設部長・総合病院事務部長
・教育委員会事務局長

計　１７　人

（司会進行）秘書課長
（会議記録）秘書課広報広聴係

【市政報告】

前回１０月６日の記者会見から最近までの出来事についてご報告いたします。

はじめに、全日本サーフィン選手権大会についてです。

１０月１５日まで北泉海岸で開催されていた、全日本サーフィン選手権大会の全日程が無事に終了し、全国から多くの皆様にお越しいただきました。また、本市在住の選手も活躍され、ショートボード男子シニアクラスの鈴木重紀選手と、ロングボード男子クラスの坂地竜二選手が全国ベスト１２、ショートボード女子クラスの長尾茜選手が全国ベスト８の快挙を成し遂げました。

次に、ペンドルトン市への派遣報告会についてです。

１０月１７日に、姉妹都市であるアメリカ合衆国ペンドルトン市へ今年８月に派遣した、市内の高校生６人による報告会が開催されました。

高校生からは授業で習う英語と本場の英語の違いや文化の違いなどの気づきや、自分達の住んでいる国を改めて知る機会になったとの意見が聞かれるなど、相互理解が図れたと感じております。今後も、両市の友好親善を図ってまいります。

次に、市議会臨時会についてです。
１０月２１日に、第５回市議会臨時会を開催しました。新庁舎建設工事に関する工事請負契約の締結について３件を提出し、原案どおり可決いただきました。
これにより、新庁舎建設工事に関する契約が成立しましたので、１１月１８日に原町区三島町の工事予定場所において工事の安全祈願祭が執り行われます。
安全祈願祭の開催前となる１１月１０日には、工事の概要と工事期間中の影響などをご説明する説明会を原町生涯学習センターで開催します。多くの市民の皆様にお越しいただければと思っております。

次に、本市において、日本のジュラ紀で最大級となる恐竜の足跡の化石が新発見されたという、大変嬉しいニュースをご報告いたします。
市内におきまして、南相馬市博物館と福島県立博物館などの研究チームにより、長さ７０センチにも達する巨大な恐竜の足跡化石が発見されました。調査の結果、この足跡は約１億６千万年前のジュラ紀のものとしては国内最大であることが判明しました。
この発見に合わせ、１０月２２日に記者会見を開催し、調査の成果を発表いたしました。報道各社の皆様には、お忙しい中取材していただき有難うございました。
市では、この発見をまちの活性化につなげたいと考え、市内５カ所を周遊するスタンプラリーを１月１７日まで開催中です。博物館には、足跡化石の大きさが一目でわかる、原寸大の足跡化石をプリントした幕を展示しておりますので、ぜひご覧ください。
併せて、ふるさと納税を通じた発掘プロジェクトへの応援の募集も開始しておりますので、ぜひご協力をお願いいたします。
このまたとない貴重な発見を励みに、本市の魅力をさらに高める取り組みを進めてまいります。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

はじめに、行政区への加入促進についてです。
１１月は行政区加入促進月間です。市区長連絡協議会と市の共催で、行政区加入促進街頭キャンペーンを各区で行います。１１月２日は原町区のフレスコキクチ東原町店で行い、今後は、１１月６日に鹿島区のフレスコキクチ鹿島店、１１月１７日に小高区のダイユーエイト小高店で行う予定です。
また、１１月１１日には、市区長連絡協議会と市の共催で、小高区泉沢行政区、原町区深野行政区が地域の課題や独自の事業を発表する行政区地域活動事例発表会とポスターコンクールの表彰式を原町生涯学習センターで開催いたします。ぜひ多くの皆様にご聴講いただければと思います。

次に、市表彰式についてです。
１１月３日に、令和８年度の南相馬市表彰式を開催いたします。自治、教育文化など各分野で功労のあった個人が対象で、４２名が受賞となります。

次に、市内のイベントについてです。
はじめに、原町区のイベントです。１１月３日には「あきいち」が開催されます。当日は、本市が主催する「交流自治体フェア」も併せて開催し、本市と協定を結んだ交流自治体による物品販売などを行う予定です。また、１１月１４日から１７日までの４日間は、市総合美術展覧会、「市美展」が開催されます。
続いて小高区では、同じく１４日から、小高観光協会の主催による「あかりのファンタジーイルミネーション in おだか」がスタートします。イルミネーションは来年の１月１１日までの５９日間、小高浮舟ふれあい広場や小高交流センターをメイン会場として、区内各所で点灯されます。初日の１４日には、小高交流センターで点灯式を開催します。
そして、鹿島区の催しについてです。１１月２１日から２３日まで、宝蔵寺で「楓姫もみじ祭り」が開催されます。同じ２１日には鹿島駅舎で、鹿島駅利活用プロジェクトの認知拡大やこのプロジェクトに関わっていただく方々の増加を目的とし、絵手紙やフラワーアレンジメント、藍染めのワークショップなどが体験できる市主催のイベントを開催します。また、１２月４日からは鹿島商工会主催によるイルミネーションが、鹿島駅などを会場に点灯されます。
ぜひ多くの皆様に会場まで足を運んでいただきたいと思います。

次に、県総合防災訓練についてです。
県と市、相馬地方広域消防本部では、１１月５日にロボットテストフィールドにおいて県総合防災訓練を実施します。
当日は、市内で地震が発生した想定で、航空機・ヘリによる上空からの情報収集や救助活動、倒壊建物からの救助訓練などを実施する予定で、市民５０人を含む７００人が参加します。
当日は１０時から、自分の身を守る３つの行動「姿勢を低く、頭を守って、動かない」を確認するシェイクアウト訓練も実施します。市民の皆様にも、身を守る行動をご確認いただき、ご家族と一緒にいつ起こるかわからない災害に備えていただきたいと思います。

次に、南相馬市議会議員一般選挙についてです。
１１月１５日に、第６回南相馬市議会議員一般選挙が執り行われる予定です。それに伴う期日前投票は、１１月９日から１４日まで、市内計５箇所において投票いただけます。市民の皆様には、ぜひ投票に足を運んでいただき、大切な一票を投じていただきますようお願いします。

次に、金婚祝賀会についてです。
１１月２０日に、ホテルラフィーヌで、結婚５０年を迎えるご夫婦をお祝いする金婚祝賀会を開催いたします。今年は２５組５０人が出席する予定です。
夫婦で手を取り合って苦楽を共にし、励まし助け合いながら、半世紀の長い年月にわたって家庭を支えてこられた皆様にお祝いを申しあげるとともに、末永いご多幸を祈念いたします。

【質疑応答】

質問１：

ふるさと納税を通じた恐竜発掘プロジェクトへの応援について、官民で取り組んで周知したいという趣旨のほか、昨今の経済状況や予算事情もある中での位置づけや、先行して協賛している企業等の状況も含めて趣旨を教えてください。

回答１：市長

本市では、個人版や企業版のふるさと納税を従来より募っており、相馬野馬追や子育てなど、目的に応じたカテゴリーを設けて事業に充てさせていただいています。

今般発見された恐竜の足跡は、約１億６千万年前のジュラ紀のもので非常に古く、かつ大きなものであることから、これまでさまざまな植物の化石などが発掘されている中で、南相馬市の新しい魅力としてのイメージ向上につながるものと考えています。

また、今後の継続調査などの費用も必要となりますので、財源確保の意味合いもございます。基本的にはこれまでのふるさと納税の趣旨と併せて考えており、先行してご協力いただいている１７社の皆様からのご支援も含め、現在および今後かかる経費に充当させていただく予定です。

質問２：

１１月２１日に千葉市で開催される「開府９００年記念パレード」において、相馬野馬追の騎馬武者行列も繰り広げられます。どのようなことを期待されるかお聞かせください。

回答２：市長

私どもの地域の良さはさまざまありますが、その一つの相馬野馬追は、１千年前に千葉の地で行われていた軍事訓練が当地に引き継がれ、この地の誇りになっています。

本元である千葉市で開府９００年記念パレードが行われる中、３０騎もの騎馬武者の雄姿を披露できることは大変嬉しいことです。

千葉市の皆さんが自分達の誇りとして「開府９００年」を改めて意識しようとしている中でお呼びいただき、千葉や全国の皆様に野馬追の雄姿を披露できる貴重な機会として期待しております。

質問３：

恐竜の足跡化石の発掘から２週間弱が経過しましたが、博物館の来訪状況や県内外からの反響など、既に市内で見られている効果があれば教えてください。

回答３：市長

私が伺っているところでは、先着１００名様分の記念品が早々になくなったと聞いています。また、他自治体に出張した際にも「すごいですね」と話題に挙げていただくことが多くありました。

回答３：教育委員会事務局長

博物館のＳＮＳを活用してＰＲに努めており、恐竜関係の話題について数多くの

問い合わせやコメントをいただいております。

回答３：教育長

ラジオやテレビの取材依頼も受けており、大きな反響をいただいております。

以上